

コリアン・マイノリティ研究会

第210回月例研究会

韓国語教育における「言語・国・民族・文化」

を問い直す試み—初級韓国語学習者は「多様な目標

言語話者」との対話から何を学んだのか—

イヒョンスク

李鉉淑さん(コリア国際学園)

近年、言語教育においても「多様性」に関する議論が活発に行われるようになった。本発表は、「学習者の多様性」及び「目標言語話者の多様性」についての意識化を目的とし、2021年度後期にA大学の初級韓国語で実施したビジターセッション活動を紹介する。

実施方法については、ZOOMを用いたオンラインと対面のハイブリッド型で行われ、そこで複言語・複文化環境で育った「多様な目標言語話者」3人(在日コリアン、朝鮮族、高麗人)との対話を試みた。対話は、言語使用や国籍、家庭の文化、アイデンティティなどの内容で行われた。

活動後の振り返りから、学生たちは、3人との対話を通して「在日コリアンが身近にかなりいることを知った」や「国など関係なく一人の友達として出会えてよかった」「韓国人だからみんな韓国語をしゃべれるわけではないことに気づいた」「韓国以外の地域でも韓国の文化が継承されていることを知った」などの意見が得られ、「韓国語＝韓国人＝韓国＝韓国文化」といった視点に変化が見られた。

また、韓国にルーツのある学習者による自己開示や「朝鮮人という理由でクラスの友達を差別した過去の経験」について内省する学生の姿もみられた。それに加え、目標言語話者として参加した学習者の一人は、「これから受け身ではなく、自分たちの存在をより多くの人に発信していきたい」と述べ、エンパワメントの可能性も示唆された。

今後韓国語教育における「多様性」を意識した深い学びにつながると期待できるのではないだろうか。

日時:2022年3月19日(土)17:30~19:30

場所:NPO 法人 猪飼野セツパラム文庫 090-9882-1663 masipon@nifty.com

近鉄「大阪上本町駅」から8分・地下鉄「谷町九丁目駅」・環状線「桃谷駅」から10分、環状線・地下鉄・近鉄「鶴橋駅」から15分

参加費:800円・会員600円・学生以下無料 どなたでも大歓迎!【要予約】

主催:コリアン・マイノリティ研究会 <https://sepparam-bunko.jimdo.com>

⑥ 「映像で見る朝鮮韓国在日」第67回上映会

映像作家イギル・ボラがまなぞす〈現実(リアル)〉一生の輝きを見つめ、戦争の暴力を問う—

日時:3月20日(日)13:30~17:30 場所:元・辻本写真館(新今里2-9-16) 1500円・学生1000円・要予約

